

LINE を活用したマイ・タイムライン普及促進業務
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和 5 年 8 月 10 日 10 時 00 分から 12 時 00 分まで
2	場 所	県庁北館 4 階 危機管理センター
3	出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理監危機管理部長（委員長） ・ 危機管理監危機管理課長 ・ 危機管理監みんなで減災推進課長 ・ 危機管理監消防保安課長 ・ 総務局広報課職員（デジタル・ディレクター）
4	議 題	LINE を活用したマイ・タイムライン普及促進業務の企画提案内容の審査
5	担当部署	危機管理監みんなで減災推進課
6	開催方法	参集（W e b 併用）
7	議事内容	<p>1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査対象者（提案書提出順） A 社 株式会社中国新聞社 B 社 株式会社中国放送 D 社 株式会社中国四国博報堂 （C 社は取り下げ書の提出があったため、欠員）</p> <p>3 主な質問・確認事項 （A 社） <ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュールの変更への対応 ・ 包括連携協定締結企業との調整 ・ デザインの変更への対応 （B 社） <ul style="list-style-type: none"> ・ マイ・タイムライン作成数の目標達成に対する考え ・ 包括連携協定締結企業との連携やポイント施策の有無の確認 ・ 実施体制 （D 社） <ul style="list-style-type: none"> ・ マイ・タイムライン作成数の目標達成に対する考え ・ 包括連携協定締結企業との連携の確認 ・ 実施体制 </p>

	<p>4 審査結果</p> <p>(1) 審査対象者の評価値 審査対象の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>(2) 最優秀提案者及び選定理由</p> <p>ア 最優秀提案者：株式会社中国新聞社</p> <p>イ 選定理由</p> <ul style="list-style-type: none">・ 各媒体による目標達成に向けたシミュレーションなどの考え方が明瞭である。・ 過去の実績を基にした広報手法など、具体的な提案がなされている。・ 包括連携協定締結企業をはじめ、提案者が日頃から持つ企業などとの連携を通じて、マイ・タイムラインの作成を効果的に訴求することが見込める。
--	--